

ARIM Nagoya Univ. Hub

RDEデータ登録について

ー R8年度ARIM名大ハブ 学内説明会資料 ー

加工・デバイスプロセス分野 データエンジニア

2026.5.13

RDEシステムについて

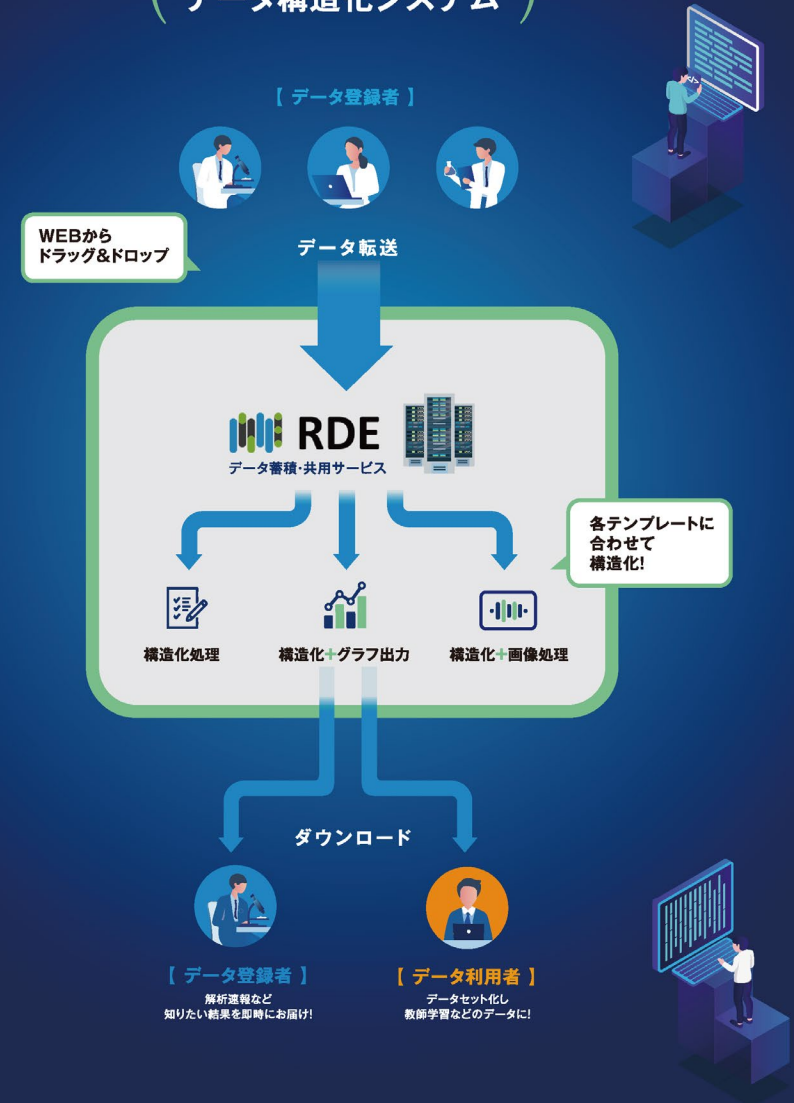
ARIM事業では、全国25の大学・研究機関の先端共用設備を整備・高度化し、全国の産学官の研究者・技術者の皆様にご利用して頂いております。

これと同時に、共用機器等から創出されたデータ等を、事業のシステム（RDEシステム）へ登録することとしています。登録によりデータは構造化されるため、複雑なファイル構造をもつデータや多量のデータであっても、すぐに使える形となります。また、データは系統的に蓄積されていきますので、データを登録した同じ研究チームの方が退職・卒業されたとしても、収集されたデータは散逸することなくいつでも確認することができるようになります。

構造化されたデータは、事業参画機関で共通したデータ形式にそろえたデータセットとして蓄積されます。データ駆動型研究で進展の著しい機械学習などにも、煩わしい前処理などをせずにすぐにご利用いただけます。

見つけやすく、AIに使いやすいデータに構造化！

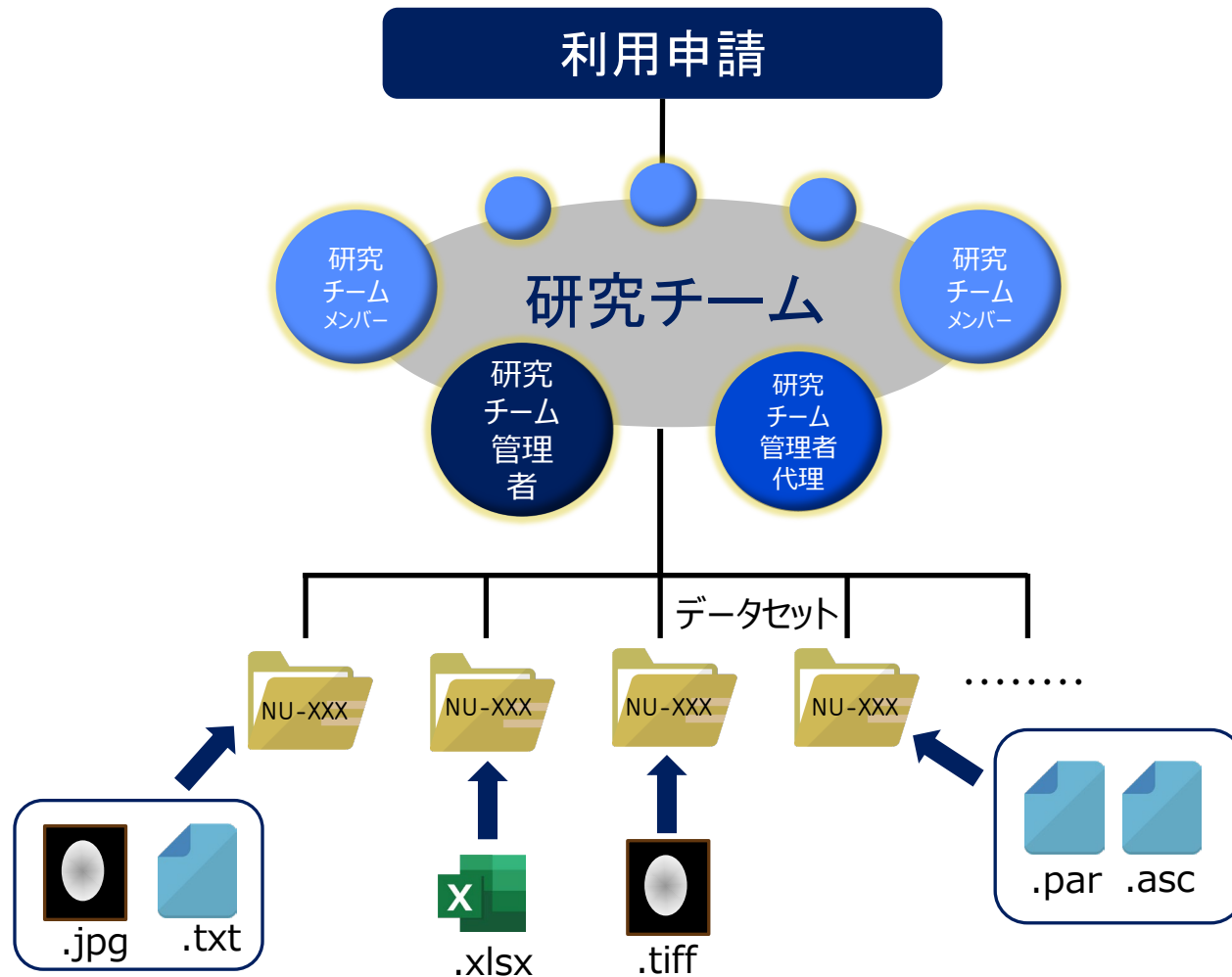
ARIM データ構造化システム



RDEデータ登録の流れ

ユーザー	ARIM名大 各分野データ担当
<p>(合成分野・計測分野・加工分野)</p> <p>① 利用相談</p> <p>② 利用申請</p>	<p>③ DICEアカウント登録の依頼</p>
<p>④ <u>DICEアカウント取得</u> ※RDEデータ登録システムのユーザー アカウント →取得後、各分野のデータ担当へ連絡</p>	<p>⑤ 研究チーム・データセット作成</p> <p>⑥ データ登録のご案内</p>
<p>⑦ 装置のご利用後、データ登録を開始</p>	

研究チーム・データセットについて



登録ファイルについての説明（各分野）

以下ホームページにて、登録に必須なファイルをご案内しております。

【合成分野】

<https://arim.mirai.nagoya-u.ac.jp/mmssp/registration/>

【計測分野】

<https://arim.nagoya-microscopy.jp/dice/>

【加工分野】

<https://nanofab.engg.nagoya-u.ac.jp/data2.html>

※順次更新しますので、装置ご利用開始前には都度webサイトをご確認ください。